

放課後等デイサービスにおける自己評価結果(公表)

公表日: 令和6年 3月(令和5年度)

事業所名

発達支援施設 はじめの一步古賀西事業所

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	2	7	1	活動人数を半分に分けて2グループ(屋内外)で活動を実施	雨天時の活動場所の確保
	2	職員の配置数は適切であるか	3	5	1	定員に対して配置数を順守	必要に応じて職員の増員検討
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	5	4		賃貸物件であり建物の構造上困難である
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	4	0	毎のミーティングの際にその日の目標を職員に発表してもらい機会を設け、終礼でフィードバック	フィードバックの定着化が図れていないため、目標に対してのフィールドを怠ることが無いような終礼の仕組み作りを行う必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8	1	0	年1回実施。意見は事業所内部で共有。改善等を行う場合は改善策を保護者に周知している	次年度も継続継続
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	4	0	公開・掲示している	事業所内の掲示、HPと公開をしているが職員の認知不足が目立つため情報共有をしっかりと行っていく
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	5	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	3	0	オンライン研修の活用	次年度オンライン研修を積極的に活用していく
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	1	聞き取りとニーズを把握し計画書の作成を行っている	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	3	1	担当ごとに計画を立案	計画立案から準備まで、職員個人への比重が大きい。次年度は準備等は他の職員も協力出来る体制作りを目指す
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	0	年間カリキュラムの作成を実施	次年度も継続
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	5	0	曜日別カリキュラムを実施	次年度も継続
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	1	・集団活動がメインであり、プログラムに応じて小集団での支援を行う ・個別活動は、はじめの一步花見事業所で実施している	事業所間での連携を図り、ニーズに合わせて使い分けて頂く
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	活動開始前には必ずミーティングを実施。各自の役割分担、支援方法の確認を行う。	次年度も継続
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	0	送迎後、終礼を実施。その日のフィードバックを行う	次年度も継続
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	活動当日、もしくは翌日AMまでにケース入力をおこなう。重要な部分はミーティングを通して申し送りを行う。	次年度も継続
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7	2	0	半期に一度実施 必要に応じて計画書の修正を行う	5領域を踏まえた支援計画の様式に変更
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	3	0		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2	0	児童発達支援管理責任者が出席	次年度より現場職員の出席を検討
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	9	0	0	学校行事等の連絡は基本保護者より連絡を頂く。必要に応じて学校に連絡をとる	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	7	1	現状、医療的ケア児を受け入れることが出来る職員等を配置していない	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	3	0	はじめの一步花見事業所(児童発達支援)と放課後等デイサービスへの以降に向けて協議の場を設けている	次年度も継続
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	3	0	該当児童無	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	3	2	週1回ダンスクラブを実施。ダンスクラブの活動では兄弟児も受け入れて一緒にダンス活動を行っている	次年度も継続
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	6	1	行政・支援センター主催の会議には基本参加している	積極的に会に参加することで他機関との連携にも繋げる
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	1	1	送迎時に保護者とお会いする際に、出来る限りその日の様子をお伝えするように心掛けている	次年度も継続
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	6	0	保護者向けの研修会等がある際は、情報を発信している	保護者の方が集う事が出来る機会を設けていく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	3	0	契約時に必ず説明をおこなっている	次年度も継続
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	4	0	電話での対応、必要に応じて事業にて面談を行う機会を作っている	次年度も継続
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	6	0		コロナ前まではママカフェを実施、令和6年度再開を目指す
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7	2	0	頂いたご意見は職員間で周知、改善が必要な際は速やかに提示する	次年度も継続
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	0	会報はなく、LINEを活用。年に2回～3回活動報告動画をまとめて保護者に配信している	次年度も継続
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	外部に発信する情報には全て本人が特定されることが無いように配慮している	次年度も継続
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	9	0	0	事業所LINEを保護者には登録をしていただき、連絡帳よりもスムーズにやり取りが出来るようにしている	次年度も継続
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	2	地域主催のお祭りのステージイベントに参加	事業所の建物や敷地面積等から地域住民の招待は難しさを感じる。そのため地域主催のイベントに引き続き参加していく

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	5	0	はじめの一步総合マニュアルとして作成している	訓練としてはこれまで、地震・火災等が中心であったため、様々な出来事に対応が出来るような強化をしていく必要がある
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	0	児童と共に年2回実施	年2回の訓練に加え、職員のみで非常時に備えた訓練の実施を行う
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	令和5年度は2回実施 うち1回は外部講師による研修	次年度も継続
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	4	0	身体拘束については契約書にて詳細を記載し契約時に説明を行う	次年度も継続
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	4	0	契約時にアレルギー確認を行う	外出先で食事を行う際や宿泊を伴う場合は、都度アレルギー確認表にて保護者に記載をもらう
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	事例が起こった際は記録、事業所内でのフィードバック、共有、改善の話し合いを設ける	次年度も継続